



# ブルキナファソ活動報告

2024年

ユニセフは、「ユニセフ・マンスリーサポート・プログラム スクール・フォー・アフリカ」を通じた皆さまからのご寄付のもと、治安が不安定なブルキナファソで、すべての子どもが質の高い授業を受けられるよう支援を継続しています。

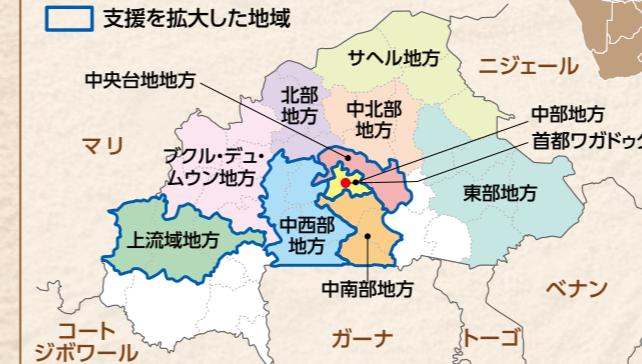
隣国ニジェール、マリと国境を接する地域で治安が改善せず、2024年12月時点での国内の学校の20%にあたる5,319校が休校中のブルキナファソ。約82万人の子どもたちが学校に通うことができないままです。ユニセフは2024年、武装勢力の影響により避難を強いられた子どもを含め、より多くの子どもが教育の機会を持てるよう、国内避難民を受け入れている地域へ支援を拡大しました。

治安の悪化による教育への影響を最小限に抑え、支援の成果が最大限生かされるよう、教育システムの強化に加えて、政策提言や保護者・地域住民・教育関係者への啓発活動、教育施設の整備などを行っています。

	2010年	2016年	2024年
幼稚園の就園率	2.8%	2.9%	6.9%
小学校の就学率	74.8%	86.1%	78.2%
小学校の修了率	45.8%	57.9%	54.5%

※治安の悪化による学校の休校などの影響により、一部地域で子どもたちの就学状況が後退しています。

日本の皆さまからのご協力で  
教育支援を実施している地域



©UNICEF/UNI729919/Zongo

1

## より良い環境で勉強できるように

### 「子どもにやさしい学校」の拡大

「子どもにやさしい学校」は、清潔で安心できる環境の中で、質の高い教育が実現できるよう、ユニセフが開発し推進してきました。「子どもにやさしい学校」モデルを導入している300校の教員1,200人に、「セーフスクール（安全な学校）」プログラム、インクルーシブ教育\*、平和教育など、多岐にわたる研修を実施。「セーフスクール」は、武装勢力に学校を襲撃されるなどの緊急時を想定した校内訓練や心理社会的ケアの提供などを行うプログラムで、300校の児童8万8,400人が安全に安心して学校に通うことができます。

\*インクルーシブ教育：障がいの有無にかかわらず、すべての子どもを受け入れる教育



©UNICEF/UNI732246/Sack  
「子どもにやさしい学校」では植林にも取り組んでいます。

### 学習環境の確保

学校に通うことができない、より多くの子どもたちが勉強できるよう、65クラスの教員130人に午前と午後の二部制により効果的に授業を行う方法について研修を実施し、児童6,006人が授業を受けられるようになりました。

また、「学校へ戻ろう」キャンペーンの一環として、保護者や地域住民に子どもの権利や教育の重要性を伝える啓発活動を行いました。ジャーナリスト約100人への、緊急事態下における教育や「学校へ戻ろう」キャンペーンに関する情報提供、地元のラジオ番組の活用、10月の新学期開始に関するメディア報道などを組み合わせることで、児童21万6,245人と国内避難民7万6,034人が新学期を迎えることができました。また、子ども4万2,400人以上に学習キットを配布しました。

### デジタルを取り入れた業務の効率化

教育指導者による授業モニタリングの報告書をデジタル化するため、タブレット100台を調達し、使用方法などに関する研修を実施予定です。



## 教育から取り残さない

### 代替教育の提供

9~17歳までの学校に通っていない子ども1万5,757人が、6月中旬から始まる夏休み中の補習授業に参加しました。補習授業では、基礎的な学習スキルを身につけ、子どもたちの学力に適した学年で就学できるよう、また、中退した子どもが勉強の遅れを取り戻し教育を継続できるよう支援しています。

### 仮設学習センターの開設

国内避難民を多く受け入れる地域では、学校の教室不足を解消するため、仮設学習センターを35カ所に開設し、既存のセンター50カ所を修復しました。その結果子ども4,988人が避難先でも教育を継続できるようになりました。男女別トイレがない7カ所にはトイレも設置されました。安全な教育環境にはトイレも欠かせません。



©UNICEF/UNI729916/Zongo  
子どもたちが授業を受けている様子



©UNICEF/UNI729912/Zongo



STORY  
ソレ・ハビボウさん(7歳)も勉強を再開できた避難民の1人です。ソレさんの物語をこちらでご覧ください!

<https://unicef.jp/40YMGKBK>



### 障がいのある子どもたち

学校に通えなかったり、中途退学したりするリスクが高い障がいのある子ども525人が、学校に通い続けられるよう支援しました。そのうち女子196人が、女子専用の寄宿学校に通うための奨学金を受け取りました。

### 就学前教育

地域の幼稚園15園を新設し、3~5歳の子ども816人に就学前教育を提供しました。また、乳幼児の保護者30人が子育て教育を受講しました。